

木津川流域下水道洛南浄化センターでは、濃縮、消化、脱水、乾燥により汚泥を処理しており、発生する消化ガスを燃料とした発電を行っている。発電設備はガスエンジン式であり、出力 495kw のものが 2 基ある。得られた電力量（約 2,000 世帯の電力）は、同センターの消費電力量の約 35% を賄っている。

5-4 資源の有効利用

(1) 下水処理水の再利用

下水処理水の再利用は、都市内における貴重な水資源確保及び良好な水辺空間の創出に寄与するものとして期待されている。

桂川右岸流域下水道洛西浄化センターの高度処理水（約 1,500m³/日）を、長岡京市の勝竜寺城公園の堀に送水し、堀の水質改善を図るとともに、水と親しむ憩いの場を創出している。長岡京市が昭和 60 年度から、アメニティ下水道モデル事業として実施し、平成 2 年度から送水している。平成 4 年度には勝竜寺城公園の整備が完了し、同市のまちづくりの象徴ともなっている。



勝竜寺城公園

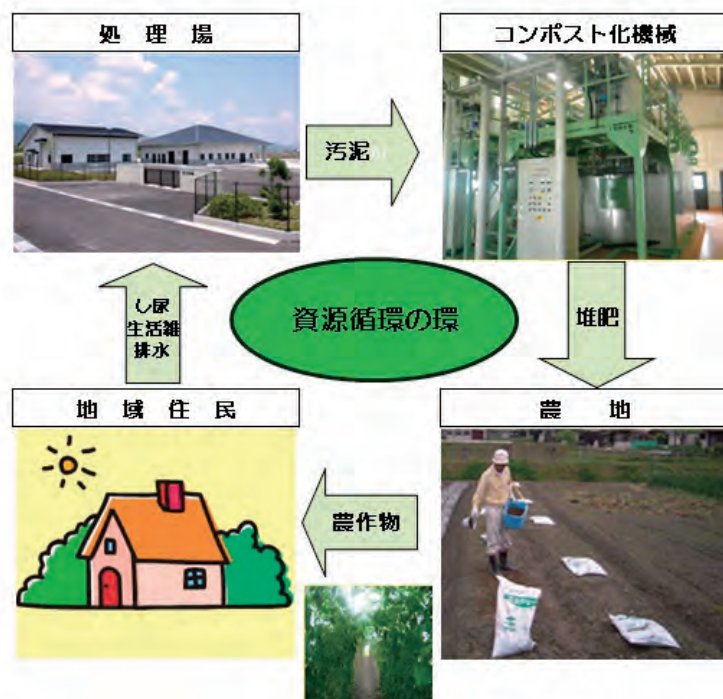
(2) 農業集落排水汚泥の堆肥化

農業集落排水汚泥は、処理施設の周辺に農地があり、有効利用しやすい。

亀岡市川東浄化センターでは、平成 21 年度に堆肥化施設を整備し、全汚泥を堆肥として活用している。堆肥は、川東地区農業集落排水処理施設管理組合が策定した利用計画に基づき、地域農業に役立てられ、循環型社会・低炭素社会の構築に貢献している。堆肥は、「エコグリーン」として肥料登録がされている。



堆肥保管庫



(3) 上部空間や増設予定地の利用

各浄化センターの増設予定地や施設の上部空間を利用して公園や運動広場等を設置し、地域住民のスポーツや交流の場として親しまれている。

① 京都府立洛西浄化センター公園（アクアパルコ洛西）

桂川右岸流域下水道洛西浄化センターの水処理施設の上部空間を利用し、平成8年度に京都府立洛西浄化センター公園（愛称：アクアパルコ洛西）を開園した。球技場、テニスコート、芝生広場等を設置しており、府民の憩いの場、スポーツの拠点として利用されている。

平成27年3月にテニスコート6面に夜間照明設備を整備し、4月から夜間利用を開始した。管理運営は、京都府立洛西浄化センター公園管理協会に委託している。



主な施設の概要

球技場	面積 13,125 m ² (125m×105m)
芝生球技場	面積 8,778 m ² (114m×77m)
テニスコート	砂入り人工芝 6面
芝生広場	面積 約 3,700 m ²
設備	男女更衣室、シャワー、休憩室 身体障害者用トイレ

② 洛南浄化センター運動広場

木津川流域下水道洛南浄化センターの増設予定地を利用し、平成元年に洛南浄化センター運動広場を設置した。

多目的グラウンドとゲートボールを設置しており、地域住民のスポーツ振興の場として親しまれている。管理は、洛南浄化センター運動広場運営協議会（事務局：八幡市教育委員会社会教育課）が行っている。

③ むくのきセンター

木津川上流流域下水道木津川上流浄化センターの水処理施設の上部空間を利用し、平成13年に、精華町において体育館とコミュニティーセンター（愛称「むくのきセンター」）を設置している。

また、増設予定地には精華町が多目的グラウンドを、相楽中継ポンプ場の上部空間には木津川市が西部交流会館を設置し、地域住民のレクリエーションや交流の場として親しまれている。